



フグです！

美味しそう！

私も早く釣りたい！

しかし、一向に当たりは訪れず……

気持ちばかりが焦ります。

焦りまくる私の横で、師匠はカワハギをどんどん釣っていきます。

さすが釣り歴 10 年のベテランです。

おもちゃ竿釣り歴 3 年の私とは比べ物になりません。

「釣り糸が弛まないように」とアドバイスをしてくれますが、

弛んじゃうんですねー。

本当に難しい。

そんなこんなで、あっという間に 2 時間が過ぎてしまい、

今日もボウズでした。

夕方時間があれば、また挑戦します。

その後は船着場で日曜日毎に行われているシラス祭りへ。

このイベントは島内の旅館や民宿に泊まったお客様を対象に

シラスをビニール袋に詰め、ヒツタリ 20g たったら

シラス一箱 300g がプレゼントされるというものです。



9月は毎週日曜日、午前9時～10時半まで行っています。

今日は沢山のヒッター賞が出ていましたよ。

9月の土日は是非篠島に泊りに来て、シラスをお土産にしてください！

おまけシリーズ vol.1

2011年9月12日(月) 18:19

ー昨日書いた旧小学校跡の赤いポスト
絵になる風景です

昨日見に行ったんだけど
口が何処にあるのか見つけられなかった



おまけシリーズ vol.2

2011年9月13日(火) 11:12

あの子は魚も釣れないし、料理も全く出来ないのでは……と、
私のことを心配してくださっている島の人々が多いので
今日は魚を下ろしているところをお見せしようと思います

(辻ミチタカさん撮影)



今日のお題は、鯛



エラを取ります



三枚に下ろして皮を剥きます



身を5ミリくらいに切って皿に盛ります



教官の指導が入ります



これは、カワハギの肝醤油

当たり前ですが、すごく美味しいです！

ホントは動画でお見せしたいところですが
手際が悪過ぎて……無理で〜す！

おまけシリーズ vol.3

2011年9月14日(水) 14:02

ここは都内某所

デザイナーさんの事務所です



篠島のPR誌を作るため

デザイナーさんに相談にきました

彼がデザインを担当してくださる

東京100ミリパールスタジオの松田さんです



松田さんはとても穏やかでオシャレな男性です

きっとエッジの立ったデザインをしてくれるに違いありません

今日初めてお会いしましたが
面白がって引き受けて下さって
ホッとしました

松田さんは私と話しながら
イメージ画をサラサラと描いていきます



表紙のイメージがどんどん膨らんでいきます



(RYOSHIのYが抜けていますが)

PR誌「漁師」の表紙イメージ画が完成！

ポイントは漁師さんの太い腕が何本も伸びて
タイトルを指差しているところ

これから取材が忙しくなりそう！

【8日目】ぼうっとする

2011年9月14日(水) 21:22

朝、名古屋で打ち合わせをして
午後急いで島に戻って来ました

のんびりした島暮らしを満喫するはずだったのに
毎日時間に追われ落ち着かない日々です

仕方がないので
島で私が一番気に入っている場所で
ちょっと休憩する

対岸に立つ風力発電の風車を夢のように眺める



今日の海はやけに濃く見えるなあ

魚も釣れないし
どうしよう

愛知の魚は頭が良すぎる……
瀬戸内の魚は入れ食いだっただけだな

などと、しょうもないことを考える

ここに来ると不思議と気持ちが落ち着きます
ほうっとしたい人にお勧めです
おまけシリーズ vol.4

2011年9月15日(木) 11:40

漁港から見た昨日の夕陽です
篠島の夕陽は本当に綺麗



写真が下手な私でもこんな風に撮れました

これから11月にかけて
空気が次第に澄んでいくので
毎日のように豪華な夕陽を楽しむことができます

魚市場の横で
優しそうなおじさまが釣りをしていました
遠く岐阜県から来たそうです
獲物を見せて頂きました



わあ！大きな鯛！美味しそう！

おじさま、励ましてくださってありがとうございました
勇気が出てきました

【9日目】漁師さんこんにちは！

2011年9月15日(木) 21:50

敬老会に参加したあと、漁協の組合長さんを訪ねました。
シラス漁について、漁師さんの仕事についてお話を伺いました。

組合長さんは実は
私がお世話になっている家のお母さんのお兄さんなんです。
だから今日はお母さんも
保護者として付いて来てくれました。

組合長さんはとても話し易くて、冗談ばかり言う方です。
私が漁師さん達に一日も早く会って話を聞きたいと言うと、

「漁師は手も足も早いで、ライオンの檻に1人で入るようなもんだよ」
と返されました……

ライオン！！！！

すると、隣の部屋で会議をしていたシラス漁師さん達が
入ってきました。
本物の漁師です。
ドキドキしましたが、お近づきになるのは今しかありません。
一生懸命話をしました。
見た感じは少しコワモテですが
皆さん、とても気さくにお話してくださいました。

面白かったのは
漁師さんは休日は何をしていますか？と聞いたら、
「婚活」
と答えた若い漁師さんがいたこと。
そのほか

子守り、パチンコ(やっぱり!)などなど…

面白い話をたくさん聞かせていただきました。

でも詳細は、まだ秘密です。

私が出す篠島の PR 誌に書きますからお楽しみに。

漁師さん、今日は本当に楽しかったです。

ありがとうございました。

これからもたくさんお話を聞かせてくださいね！



すっかり上機嫌になった私は

夕方釣りに行きました。

石油タンクの辺りです。

釣果は

アジ 2 匹、イサキの子 4 匹

アジは結構大きめのを一匹釣ったのに

瞬く間に痩せた茶色い猫に取られてしまいました…

ずっと狙っていたんだろうな..



日間賀島 竹内晴奈ちゃんライブ

2011年9月17日(土) 14:40

お隣の日間賀島で昨夜(9月16日)
日間賀島担当・シンガーソングライター竹内晴奈ちゃんの
「お世話になりますライブ」がありました。
彼女は27才。
明るくて、まっすぐで、笑顔が可愛い魅力的な女の子です。

リハーサルで初めて彼女の歌を生で聴いた私は、
涙が出るくらい感動しました。
晴奈ちゃん、すごい！！

開演近くなると、会場には続々と島の住民の方が集まって来ました。
100席ほどの会場は、ほとんどが埋まっています。
彼女が歌い始めると、
お客さんも私たちも、彼女の歌の迫力に圧倒されてしまいました。
カバー曲もすごくいいけど、オリジナル曲がやっぱり素敵だなあ……

晴奈ちゃんの歌を聞いていると、
ずっと忘れていた過去のことや、今のことを思い出します。
自分が瞬間瞬間に抱く思いを、こんなふうに表示できるのって
なんて素敵なんだろう。と、心から羨ましくなりました。
私はオリジナル曲の「Sky」という曲が1番好きでした。
彼女が日間賀島で親しくなった音楽友達とのセッションもあって
大成功のライブだったと思います。
「今度はもっとたくさん島の女の人に私の歌を聴いて欲しいな～」
と言っていたので、
このブログを見てくださっている島内外の女性の方！
是非次の機会に、晴奈ちゃんの歌を聴いてください。
ハンカチを忘れずに持ってきてくださいね。



そうそう

佐久島の新里碧ちゃんと一緒に最後に挨拶をした時、壇を降りようとしたら、着地に失敗して派手に転んでしまいました……
恥ずかしかったー(泣)



碧ちゃんとお昼に篠島でジャコ天を食べました！
絶妙の塩加減で美味しかった！！
ジャコ天最高!!!



それから新鮮な平貝とミル貝のお刺身。
篠島の代表区長さん、副区長さん、ご馳走様でした。

【10日目】秘密にしておきたい祭

2011年9月19日(月) 5:39

(9月18日)

朝早く目が覚めてしまったので
こっそり家を抜け出して、狭い路地を抜けて神明神社へ。
歩いて30秒くらいで到着してしまう。

朝早いから誰もいない。
この境内にはいつも清らかな空気が漂っている。
お盆の頃に初めてきた時には
この清潔な佇まいに驚いてしまった。
こんな小さな島に、こんなに清らかなお宮があるのか……
伊勢神宮の古材で建てられているからかもしれない。

4ヶ月間この島で、仕事を全う出来ますようにと願う。

坂道を降りて、今度は海沿いに八王子社へ歩いて行く。
海を見ながらぶらぶら歩くと2分くらいで到着してしまう。

八王子社も驚くほど清潔な空気が漂っているお宮だ。
私はここの石段が好きだ。
大きな岩が組み合わさって出来ている。
初めて来た時は
耳がおかしくなるくらい蝉がわんわん鳴いていた。

八王子社でも同じお願いごとをする。
ちゃんと住所も名前も言ったし携帯番号も伝えたから
もう大丈夫だろう。

八王子社の神様は犬嫌いで知られている。
どうしてなんだろう…
確かに境内に狛犬はいない。

犬に噛まれたのか？

それとも、単なる猫ちゃんファンなのか？

友人たちからもよくきかれるし、私も理由を知りたいから
郷土史に詳しい方に教えてもらおう。

シラス祭のお手伝いへ。

沢山のお客さんがピッタリ賞を当てていた。



お昼は雑誌の広告について相談。

午後からはタケちゃんと釣り。



キスを狙うが釣れる気配なし。

場所を移動して

ようやく小さなメバル様を1匹だけ釣る。



メバル様。

お気の毒なので海に帰ってもらった。

夜は南知多町長さんに誘われて

内海の神楽船祭へ。

晴奈ちゃんも一緒。



バイクにもたれて待っていてくれた町長さん。

少年のような人です。

神楽船祭は、地元の人たちだけのしみじみとした祭。



賑やかな露店も音楽もなく、真っ暗なお中にお囃子だけが聞こえてくる。

108個の提灯を手漕ぎの大きな船に提げていく。



観光目的ではない、こんなに風情のある祭を見たのは初めてだ。

川から吹いてくる夜風が涼しい。

切なくなるようないい祭だった。

この祭は今のままの姿でいて欲しい。

【11 日目】竿を借りに行ったら……

2011 年 9 月 20 日(火) 8:13

(9 月 19 日)

船の油を商いしている鈴木さんに、
島の反対側へ竿を借りに行った。

(昨日の釣りで竿が折れちゃった……)

空は真っ青で、サングラスが欲しいくらい日差しがまぶしい。

油屋さんの事務所に着くと、
先日お会いした組合長さんや、見覚えのあるシラス漁師さん達数名が
窓際のソファでアイスコーヒーを飲んでいた。

この機会に
篠島の PR 誌の協賛広告についてお願いをしたいと思うが、
今はただ竿をもらいに来ただけなので
資料も持っていないし、化粧もしていない。
しかも短パンと T シャツ姿……
どうしよう

仕方がないので、口で説明する。
篠島の PR 誌を作るから、漁協さんで広告を出していただくことは
できませんか？
と訊ねると、組合長さんは
「俺の顔写真を載せてくれるなら、何万でもたしてやるよ」
と笑っていた。

今日はシラス漁が休みだ。
だから漁師さんたちは油屋さんに集まっておしゃべりしたりしている。
この島に来るまでは、
漁師さんは年間 300 日くらいは漁に出ているのだと思っていた。
でも違うらしい。
年間 100 日ほどだそうだ。